

※記載例を参照の上、ご記入ください。









(様式第3号)


企業・団体名（                      ほっとパル株式会社                      ）

# SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			1984年の創業時より女性を積極的に雇用しており、性別や年齢に関係なく、教育・昇進・福利厚生など、あらゆる雇用条件で差別しない体制を整える。2020年1月より女性社長が就任した。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)		【予定】	どのようなことが「ハラスメント」に当たるかのマニュアルを提示し、取締役、社員共に共通の認識を持つようにする。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			労務管理者より36協定内容を全社員に共有している。各セクション、個々に残業時間の上限目標を決め、各人の業務量バランスを配慮しつつ、メリハリのある働き方を推進している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)		【予定】	現在は外国人からの求職がないため具体的に取り組んでいないが、今後雇用することも想定し、それに応じた労働環境の整備等の準備をする。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			仕事中では熱中症対策、寒さ対策としてエアコンを増設するとともに、午前・午後共に休憩時間を設けている。社内整理・清掃は毎週行い、除菌機能付き空気清浄機を設置し、ウイルス感染予防対策をしている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			取締役と社員との垣根をつくらず、日常からコミュニケーションをとりやすい社内環境を整えており、相談窓口を含め気軽に相談できる環境を整備している。毎朝社員全員でストレッチ運動やペアを組んでの脳トレ運動を、楽しみながら行っている。毎年8月に野沢温泉男女の森戸外観察ツアーを実施し、森林浴ながら社員の時短勤務やリモートワークなど、柔軟な働き方に対応する。定年(65歳)後の再雇用も実施しており、(希望する限り)いつまでも働き続けられる勤務環境を実現している。配属業務については、退職後のスキルアップのためのOJTによる研修を実施している、自己啓発、能力開発のための勉強会への参加を推奨し、参加費の会社補助もおこなっている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			社員の時短勤務やリモートワークなど、柔軟な働き方に対応する。定年(65歳)後の再雇用も実施しており、(希望する限り)いつまでも働き続けられる勤務環境を実現している。配属業務については、退職後のスキルアップのためのOJTによる研修を実施している、自己啓発、能力開発のための勉強会への参加を推奨し、参加費の会社補助もおこなっている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			基本的スキルをつけるためのOJTによる研修を実施している、自己啓発、能力開発のための勉強会への参加を推奨し、参加費の会社補助もおこなっている。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			正社員・準社員・パート社員の業務範囲や責任所在の違いを明確にしており、それに則った公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			「健康経営優良法人2020」の認定を受けている(2019年より7年連続)。また都道府県協会けんぽ「健康チャレンジ宣言」も行っている。正社員、準社員は全員健康診断を受け、個々が希望するオプション健康診断も全額会社負担で受診している。			3				8										
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			新聞の納品時に出る結束バンド(プラゴミ)は再加工業者に、紙類は分別して紙回収業者に出している。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)		【予定】	省エネ診断、算定ツール等を利用して、排出量の把握に努める							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			社用車は全て省エネ仕様CO2削減車を使用。環境にやさしいエコマーク商品などを積極的に導入している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			法令等で規制されている有害化学物質を使用していない印刷会社と取引をしている			3.9			6.3					11.6	12.4					



項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			生物多様性に関する取組は、環境方針に基づき、生物多様性保全の観点から、生物多様性の保全に努めている。また、減少や自然破壊の防止を基本として、生物多様性の保全に努めている。これらにより、生物多様性の保全に努めている。							6.6								15			
16		【3 Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			ミスコミュニケーションは社内書類のコミュニケーションに再利用している。ほっとパル手箱納品時に出る当て紙も可能な限り再利用している。納品時の結束バンドはプラスチックリサイクル業者に、紙類は分別して紙回収業者に回収してもらっている。											13		14.1					
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	【非該当】								6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)							3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	HPや自社媒体(ほっとパル手箱やTSUNAGU)などで情報開示をする。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			社屋の屋根(建物3棟)にソーラーパネルを設置し、太陽光によで社内電力は賅っている。								7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)																12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄を一切認めない方針を定め、社内規程および日常の業務指導を通じて全社員に周知している。																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			公正な競争を損なう不正行為に関与しない方針を定め、社内規程および日常の業務指導を通じて全社員に周知している。																16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			印刷発行物を発行する事業者として、著作権等の知的財産を適切に取り扱うことは特に重視し、法令の遵守と社内での適正な運用を通じて知的財産の保護に取り組んでいます。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報が記載された書類は必ず書庫に保管している。不要になった場合はシュレッター処理、または専門業者による溶解処理をしている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																			16		
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	パートナーシップ構築宣言公表要領に添い、申請書類の準備を行い、2026年4月までに講評できるように準備をする。				3					8	9	10						17	

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			発行する媒体や、納品物について、サービスの安全性を確保するため、社内の確認体制やチェック手順を整備し、適切な運用を行っている。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			質の高い製品やサービスを提供するために、社内の仕組みや確認手順を整え、適切な品質保証の取り組みを行っている。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)									6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			自社事業が地域に与える影響を把握し、地域住民や関係者からの意見を踏まえながら、柔軟に対応をしている。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)							4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)											8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			毎朝行う朝礼にて、経営理念および目標を全員で唱和している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			関係法令を確実に遵守するための社内体制を整備し、日常業務を通じて法令遵守の考えを社員に浸透させている。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)		【予定】	企業活動が社会および環境に及ぼす影響に適切に対応するため、担当部署を設け、必要な体制を整備していく。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			地域住民・取引先・配布スタッフ等のステークホルダーとの対話を通じて、自社活動の影響を把握し、いただいた意見を業務運営に適切に反映している。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)																			16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)																			16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)												9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)											8	9								17



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格                      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定